

Library Mate

～新館長から～

図書館は“秘密の花園”

図書館長 窪 龍子
(大学人間社会学科教授)

100年ほど前にF.H.バーネットが書いた児童文学の古典『秘密の花園』は、今も世界中で読まれています。

主人公のメアリは、使用人によってわがまま放題に育てられ、可愛げのない、貧相でいつも不機嫌な女の子でした。両親の死後、インドからイギリスの叔父のもとへ引き取られ、後に従兄弟のコリンに出会うことになるのですが、彼もまた親に放っておかれた、寝たきりの小さな暴君でした。マリイの好奇心は、10年間出入り禁止だった荒れ放題の庭園を秘密裏に花園へと再生させてゆく原動力となりました。地元の自然児ディコンの力を借り、コリンも巻き込んでいくと、ひ弱だった二人の心身は、春を迎えたヨークシャーの風土に癒され、健康的に成長してゆきます。

子どもが親に放っておかれれば不機嫌にも暴君にも育つだろうし、子どもが大人たちに秘密を持つのは心理的自立の第一歩でしょう、というふうに、私は発達心理学的にも読んで、面白がっています。イギリスの批評家M.ラスキは、『秘密の花園』は現代の心理学の発見を先取りしたと指摘しているそうです。

一体、人は一生のうち何冊の本や雑誌を読むことができるのでしょうか。500冊か1000冊、それとも5000冊でしょうか。

本学の図書館には、マンガから重要文化財に指定された書物まで54万冊の図書と4500タイトル



の雑誌が備えられています。図書館は魅力に満ちた魔法の森です。読書は、時空を越えて、私たちを未知の世界に連れ出してくれます。

ぜひ、みなさんも魔法の森に迷い込んでみてください。レポートを書いたり論文を作成したりするためだけでなく、先人たちが残してくれた書物、世界中から取り寄せることのできる資料、どんなものでも、自らの好奇心を頼りに本を選び、読み続けてください。

きっと魔法に導かれて、あなた自身の“秘密の花園”が見つかることでしょう。

下田歌子著 『新選家政学』—家庭科教科書の原型—

実践女子学園中学校・高等学校教諭
実践女子大学 食生活科学科講師

関 登実子

(大学 食物栄養学科卒業)



上海師範大学付属中学校にて(中央が筆者)

上海師範大学付属中学校との交流を計画していた1992年、実践桜会で一本のテープと出会った。実践女学校の清国留学生部の教官・舎監であった坂寄美都子の講演を記録したものである。

『中日友好史』の中に名前がある下田歌子は1905年実践女学校に清国留学生部を作り、いち早く清国より留学生を受け入れた。女流教育者として名声の高かった歌子のもとに、革命家秋瑾も訪れたのである。教官坂寄美都子は講演の中で、秋瑾と当時の留学生の生活の様子や纏足のことなどを伝えている。

当時よりさかのぼる1893年、下田歌子は『家政学』を出版している。これは生徒の講義筆記をもとに校補されたものである。そして1900年に、欧州視察(1893年9月～1895年8月)で得た知識や体験を加えて『新選家政学』を出版した。中国から200人余りの留学生が次々と来日し、その中には教員として働いたものがある。

中国においては曾紀芬夫人(中国 1852-1942)が『新選家政学』の内容を中国の実情に合うように編集し、一族のために1903年『聶氏重編家政学』として出版した。それは家庭内の管理

運営、教育を含んでいる。当時の中国の社会情勢と考え合わせると、大変興味深いものがある。

2008年11月に上海師範大学付属中学校で家庭科の研究授業を実施した時、高校2年生と中国各地からこられた教員の方々へ、中国留学生と実践の家政学について話した。現在、日本の学校教育における家庭科では、衣服、食事、住居、幼児の保育、高齢者の世話について学ぶ。そして中国ではなじみのない、食品と栄養素について紹介した。実際に一日に食べる食事を図に描き内容を書き、6つの食品のどのグループに当てはまるかを見て、全体の摂取栄養素のバランスを検討した(速水決6つの基礎食品による)。高校生よりも、授業を受ける教員の積極的な様子は予想をはるかに上回っていて、向学心、好奇心の強さが中国の教育を支えていることを実感する良い体験であった。説明内容を上海師範大学国際交流處の副處長の陸紅玉氏の援助により無事終了。

帰国し授業に臨んだ時に、わが国で使用している家庭科教科書の原型は下田歌子著『新選家政学』にあることを再認識した。校祖のこの著書は私たちの生活の原点であり、110年の年月を経ても常に我々と共に存在し続ける実践の誇れる財産である。



『家政学』自筆草稿



『新選家政学』上の巻、下の巻

110th
ANNIVERSARY

学園創立110周年記念

学祖 下田歌子先生肖像（1）

下田先生は1872（明治5）年に宮中に出仕され、和歌の才能を愛でられ皇后より歌子の名を賜りました。ここでは宮中に出仕されていた時から1899（明治32）年に実践女学校を設立された頃の下田先生の肖像を紹介します。

①



桃天学校時代（明治17年）
右が下田歌子（31歳）

②



華族女学校学監時代
（明治20年代 34～5歳）

③



『ジャパントイムズ』
（昭和6年11月1日）
掲載写真（42歳、一説には55歳とも）

④



④『明治英名百人首』（明治14年）

⑤



⑤『明治英名百詠撰』（明治12年）

⑥



『婦女新聞』
（明治35年10月27日）より

⑦



下田歌子生誕150年記念切手
（明治35年頃の肖像）より

※ ①～⑤は下田歌子記念資料室にあります。

肖像は次号以降でもご紹介する予定です。

写真で見る図書館史（1）

実践女子学園は今年、創立110周年を迎えます。この長い年月の間に、図書館も様々に変化してきました。ここでは、写真でその歴史を振り返ってみたいと思います。

今号では戦前の図書館について見てみましょう。

＜昭和6年当時の図書館です。校舎は渋谷にありました。＞



【書庫】



【閲覧席】

(昭和6年実践女学校 記念写真帖より)

本学図書館は、昭和2年までは一教室程度のものであったと思われます。

下田先生が、勲三等瑞宝章を受章した記念として陸勲記念館の建築計画が持ち上がり、昭和3年11月、4階建鉄筋校舎の陸勲記念館が竣工し、この3階に初めて図書館としての施設が誕生しました。

この記念館図書館の閲覧室（150㎡）は、東西に窓があり風通しのよい部屋で、踊り場をはさんで耐震耐火の堅牢な書庫（82㎡）がありました。

残念ながら、昭和20年5月25日の戦災によって学園の建物の大半が焼失、図書館も全焼しました。このとき戦前の貴重図書もほとんど消失してしまいました。焼け残った校舎の第1館、第2館を臨時図書室にあて、新たな資料の受け入れを始めます。

昭和22年、修復された旧図書館に移転し、さらに蔵書を充実させていきます。

そして昭和31年9月、大学・短期大学図書館棟の竣工となります。

その写真については、次号以降で紹介したいと思います。



【陸勲記念館】(図書館は3階)



☆ 一口メモ ☆

当時の図書館には、図書館長という肩書を持った生徒がいたようです。

鈴木カズさん（昭和12年実践高等女学校卒業）は、学生時代一年間図書館長をされていたとのことです。図書館長には補佐がつきます。本の貸出、返却、本の整理の仕事をしていました。

生徒より希望図書の申し込みがあると、購入するかどうか先生と相談して決めていたとのことです。



ヒョウタンツギの彼方 — 絵画が絵画であること、漫画が漫画であること —

大学 美学美術史学科

准教授 椎原 伸博

独特な語釈で知られる『新明解国語辞典』で「ビエンナーレ」は、「(イ Biennale=一年おき) 一年おきにベニスで開かれる、イタリア政府主催の美術展。1895年創立。(広義では、1951年発足のサンパウロのそれをも含む)。」と説明されている。この説明は1972年発行の初版のものだが、2006年の第六版でもベニスがベネチアと同義であることを示されてはいるが、基本的に語釈の変更はない。

この「ビエンナーレ」という言葉を、思いがけない場所で発見した。それは、手塚治虫が1960年1月から61年1月にかけて『なかよし』に連載した少女漫画『エンゼルの丘』である。この漫画において、人魚族の娘ルーナとソレイユを助ける日本人船長＝草原英二の母が画家という設定となっている。英二には、あけみという妹がいて、あけみと瓜二つのルーナが取り間違えられ、波瀾万丈な物語が展開することになる。

ところで、英二とあけみの母親は、ひたすら「ヒョウタンツギ」を描く画家という設定であり、彼女は、エンゼル島の女祈祷師ピョーマに騙されていることも知らずに、巨大な「ヒョウタンツギ」を描き、「ビエンナーレへ出すのだから特大を描いているの」と言って、パリのギャラリーデビューを夢見るのである。

ここで、興味深いのは「ビエンナーレ」と言う言葉が、40年も昔の少女漫画に登場していることなのだが、初出の『なかよし』1961年1月号を国会図書館で確認したところ、そこには「フランスへ出すのだから特大をかいているの」と書かれていた。それではいつ「フランス」から「ビエンナーレ」に変更されたのだろうか？調べてみると1971年の虫コミックス版の時点で既に変更されており、この変更はオリジナルに近い形に戻されたという78年の講談社の全集版でも「フランス」に戻されなかった。すると、虫コミックス版の発行時期と『新明解国語辞典』初版の発行時期の近さが気になってくる。

ところで『エンゼルの丘』において、ビエンナーレ出品を目指す英二とあけみの母が描く、巨大な「ヒョウタンツギ」であるが、彼女はなぜ「ヒョウタンツギ」を描いたのだろうか？手塚漫画の愛すべきキャラクターである「ヒョウタンツギ」は、手塚の妹のいたずら書きに起源があるとされているが、それが漫画に登場するときは、ストーリー展開と関係

なく突然現れ、無意味なキャラクターであることを特徴としている。

ふつう画家は目の前に見えている対象を、画布に模倣再現するのであるが、英二とあけみの母の目の前に「ヒョウタンツギ」が見えていたのだろうか？無論、確立している漫画のキャラクターを模倣しただけなのだという考えも成立するだろうが、むしろ私は、彼女がこの絵を必然的に描かざるを得なかったと解釈したい。あるいは、彼女が描いたものは「ヒョウタンツギ」のように、何の意味もないもの、それはバルザックの小説『知られざる傑作』に登場する老画家フレンホーフエルが描ききったものに近いのではと考えている。

この小説で、フレンホーフエルは畢生の大作「美しき諷い女」を完成させるが、弟子のニコラ・プーサンの中には、そこには何にも描かれておらず、それは単なる「絵画の壁」でしかないと言われる。結局老画家は「なんにもない、なんにもない！」と絶望して、自ら死を選ぶのだが、この小説はセザンヌやピカソといった画家たちを魅了した。

プーサンが指摘した「絵画の壁」とは、生々しい絵の具の物質性に他ならないが、それはモーリス・ドニによる絵画の定義「ある秩序で集められた色彩で覆われた平坦な表面」に通じている。また、小林秀雄が『近代絵画』において、詩人ボードレールに触発され、マネの絵画に見いだした「新しいリアリズム」とも通じ、それは絵画が絵画である理由(自律性)を示唆している。

一方、英二とあけみの母が描く「ヒョウタンツギ」からは、物質性を意識することはできない。しかしそこには、それが何かという意味を超えて、私たちの目を突き刺すような何かが備わっている。私たちはその図像の前で釘付けになるが、その図像の意味判断は停止する。このとき、「なんにもない」の図像の背後に、絵画(あるいは漫画)そのものの世界が横たわっていることを意識すべきだろう。

そして、その世界を実感するということは、私たちが絵画あるいは漫画の「創世」の瞬間に立ち会うことなのである。とはいえ、私たちの目は、あまりにも様々な情報に毒されすぎているのが現状であろう。すると、私たちに必要なのは、「ヒョウタンツギ」を、純粋で無垢な目で眼差すことであり、そのとき絵画や漫画そのものが発見されていくのである。

エンゼルの丘

手塚治虫著、講談社漫画文庫、1999、460p
(大学図書館所蔵 726.1/Te95)

知られざる傑作：他五篇

バルザック作；水野亮訳、岩波文庫、1928、196p
(大学図書館所蔵 改版、1965、221p 953/B19)

近代絵画

小林秀雄著、新潮文庫、1968、274p
(小林秀雄全集所収 918.68/Ko12)



～裁判員制度スタートに関連して～

大学 人間社会学科

教授 数野 昌三

平成 21 (2009) 年 5 月 21 日より、司法の国民的基盤を確立するため、国民から選出された裁判員が、裁判官とともに、殺人、傷害致死などの重大事件に関する刑事裁判に参加し、被告人が、有罪か或いは無罪か、そして、有罪の場合、量刑はどのようにするのかを決定する『裁判員制度』がスタートしました。我が国では一時、陪審員制度を採用し、有罪か或いは無罪かまでの判断をしていましたが、量刑にまで関わるのは初めての事です。

この裁判員制度に関して『裁判員のための刑法入門』は、第 1 章「裁判員制度の基礎知識」、第 2 章「裁判員に選ばれたら」、第 3 章「裁判員が関わる事件はどのようなものか」、第 4 章「刑事裁判の基礎知識」、第 5 章「身近な犯罪」という章立てで構成されており、裁判員に選出された場合、その仕組みを知ることから始め、裁判員が関わる事件を罪名別に 15 例挙げ、コンパクトに解説しています。実際、手に取って読んでみてはいかがでしょうか。

特に学生の場合、「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」第 16 条に辞退事由が規定されているので、一見しておくこともよいでしょう。

そして、最高裁判所制作の DVD『審理』は、ナイフによる刺殺事件を素材とし、その行為が正当防衛に該当するのか。3 名の裁判官と 6 名の裁判員との間で緊迫感あふれる議論がなされ、判決へと導いていきます。本制度の理解を容易にするうえでも一見に値します。酒井法子さん、星野真里さんが共演され、60 分間です。

ところで、法律と聞くと、裁判沙汰という言葉があり、堅苦しい或いは我々の日常生活を押しさえつけるものというイメージが強いです。しかし、法律は、社会を規律する大変重要な役割を担っています。例えば、犯罪が行われ



裁判員のための刑法入門

船山泰範、平野節子著
ミネルヴァ書房、2008、204p
(大学図書館所蔵 326/F89)

法の世界へ【第 4 版補訂】

池田真朗・犬伏由子・野川忍・
大塚英明・長谷部由起子著
有斐閣、2009、281p
(大学図書館所蔵 320.4/I32)

審理：裁判員制度広報用映画

最高裁判所、DVD
(大学図書館所蔵 U327/2)

た場合或いは紛争が発生した場合、それらを解決するための判断基準を示しているのが法律です。したがって、法律は、我々の日常生活に身近に存在し、法律知識を得ることは、我々にとって大変有意義なことと言えます。

ここで、『法の世界へ【第 4 版補訂】』は、第 1 章「日常生活と契約」、第 2 章「日常生活とアクシデント」、第 3 章「雇用社会のルール」、第 4 章「家族関係」、第 5 章「企業と法」、第 6 章「紛争の解決」、第 7 章「法学フラッシュ」という章立てから構成されています。換言しますと、日常生活の中での売買やお金の貸し借りといった契約関係、交通事故や医療過誤などのアクシデント、アルバイト、就職、結婚などについて、初めて法律を学ぼうとしている皆さんに興味をもって学んでもらい、学び得たことを将来役立てて欲しいということから、各法律の専門分野の諸先生方によって執筆されました。予防医学といわれる時代、予防法学を身につけることも大切なことではないでしょうか。

実践入門セミナー

「授業で課題が出されたときにはどうしたらいいの？何を調べればいいの？という新入生の不安を解消せよ！」との命を受け、図書館スタッフが一丸となり、講義と図書館の見学を行いました。

みなさんからはこんなコメントが寄せられました。

◇ 卒業するまでに図書館をマスターしたい!!
有効に活用して良いレポートを作れたらいいです。暇な時間にたくさんの本に囲まれてゆっくり過ごすのもいいな—と
思いました。

◇ 参考図書コーナーの紹介がわかりやすかったです。

普段手に取る機会があまりない種類の本だったので、紹介をうけておもしろそうだな、今度パラパラしてみようかな、—と
思いました。

◇ 今日、初めて図書館入りました。感動しました。これからの勉強で役に立ちそうな本がたくさんあったので、どんどん利用したいと思います。



大学での見学の様子

◇ 以前、本を借りたことはありましたが、検索の仕方や本の並び順などより詳しく知ることが出来、今後図書館を利用するのにとても参考になりました。

◇ 実践の図書館は、ただ本を借りるだけでなくレポートのサポートもしてくれるのは初めて
知りました。

etc...

※原文のまま。一部抜粋。

図書館では学年に合わせたガイダンスを用意しています。

現在2年生、3年生、4年生で調べものの仕方がわからないという方も、ぜひガイダンスに参加してくださいね！



大学での講義の様子



短期大学での見学の様子

※※※いんふお-め-しょん※※※

2009年7月～2009年11月

大学図書館

開館時間

通常：月～金 8：50～19：30
土 8：50～17：00

試験期（7/1～7/31）

月～金 8：50～19：30
土 8：50～18：00

※7/20(月・祝)は授業日のため、19：30まで開館

試験等調整期間（8/1～8/4）

月～金 8：50～18：00
土 8：50～16：00

夏休み期間（8/5～9/20）

月～金 9：00～16：00 ※土・日曜休館

休館日

夏休み期間：毎週土・日曜日、8/12(水)～8/18(火)

試験期の貸出

7/1(水)～7/25(土) 3日間貸出

対象：大学生、短大生、科目等履修生

夏休み特別貸出

図書 期間：7/27(月)～9/8(火)

冊数：無制限

返却日：9/22(火)

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

卒論作成者のための特別貸出

対象：博士論文・修士論文作成者

卒業論文作成者(全ての学科)

受付期間：10/1(木)～12/4(金)

貸出期間：貸出日から30日間

冊数：無制限

※卒論・修論特別貸出対象資料は、大学図書館で貸出手続きを行う図書のみです。

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

短期大学図書館

開館時間

通常：月～金 9：00～18：45
土 9：00～16：00

試験期（7/1～7/31）

月～金 9：00～18：45
土 9：00～17：00

試験等調整期間（8/1～8/4）

月～金 9：00～17：45
土 9：00～16：00

夏休み期間（8/5～9/17）

月～金 9：00～16：00 ※土・日曜休館

休館日

夏休み期間：毎週土・日曜日

8/12(水)～8/31(月)は、夏期休業
及び蔵書点検のため休館

試験期の貸出

7/1(水)～7/25(土) 3日間貸出

対象：大学生、短大生、科目等履修生

夏休み特別貸出

図書 期間：7/27(月)～9/4(金)

冊数：無制限

AV資料 期間：7/27(月)～9/11(金)

冊数：6点

返却日：9/18(金)

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

○8/12～11月上旬まで、大学本館にて空調工事を行います。
騒音等ご迷惑をおかけすると思いますが、ご了承ください。
なお、工事とともなって開館日程に変更が生じる場合があります。
詳細は決定次第お知らせします。

○常磐祭のため11/6(金)～9(月)は休館

○祝日の授業実施日は通常開館

○詳細や変更は掲示等でお知らせします

編集後記

今年実践女子学園創立110周年を迎えます。今年の下田歌子先生の特集と、図書館の歴史はいかがでしたか。当時は学生さんが図書館長をつとめていたことがあったんですね！現在の図書館も新しい館長をお迎えして、ますます魅力的な“花園”めざしてがんばります。…次号もお楽しみに！

Library Mate 第42号 2009年7月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
URL: <http://www.jissen.ac.jp/library/>
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
URL: <http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>
発行責任者 窪 龍 子